

News Release

2019年10月10日
株式会社日本政策投資銀行

(株) AIRDOに対し、 「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」に 基づくシンジケート・ローンを組成

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）と株式会社北洋銀行（本社：北海道札幌市、取締役頭取：安田光春、以下「北洋銀行」という。）は、共同アレンジャーとして、株式会社 AIRDO（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：草野晋、以下「当社」という。）に対し、「DBJ 健康経営（ヘルスマネジメント）格付」（以下「DBJ 健康格付」という。）に基づくシンジケート・ローンを組成しました。

当社は、企業理念の一つに「北海道の翼として地域社会に貢献する」ことを掲げ、羽田－新千歳線を中心に道内 6 都市と本州 4 都市を結ぶ 10 路線を運航しています。2018 年には就航 20 周年を迎えており、今後は更なる発展的成長を見据え、中期経営計画では機材戦略を重点戦略の一つに位置付けています。

本件は、当社使用機材であるボーイング 767－300ER 型機の導入にあたり、地元金融機関と共同して金融面から支援するものであり、DBJ、北洋銀行、株式会社北海道銀行及び北海道信用農業協同組合連合会にて、シンジケート・ローンを組成したものです。

導入された機材は既に羽田－新千歳線を始め羽田空港と道内空港を結ぶ路線に就航しており、インバウンド増加等により高まる北海道方面の航空需要への対応や、当社競争力強化に貢献するものとなっております。なお、航空会社における「DBJ 健康経営格付」は、今回が初めての事例となります。

「DBJ 健康格付」融資は、独自の評価システムにより、従業員の健康配慮への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「健康経営格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 全従業員に対する労務管理の徹底はもとより、日勤者も含めたインターバル制度及び時差出退勤制度の導入や、従業員のライフイベントに応じた勤務地変更制度の設定等、働きやすい職場環境整備に努めている点
- (2) 中期経営計画における最重要課題の 1 つに「人財戦略」を掲げ、従業員アンケートを通じ把握した働き方、働きがいに関する課題に対し、具体策として人事評価制度の見直しや対面でのフィードバックの導入を検討している点

- (3) 全てのお客様が安全・安心に利用できるよう、サービス介助士の資格取得の推進や車いす操縦訓練の実施等のソフト面の取り組みに加え、ハード面ではローカウンターへのリニューアルや視覚記号の表示を行うことで、利用者に対しユニバーサルなサービスを提供している点

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、今後とも地域経済の活性化、競争力強化に向けたお客様の取り組みを積極的にサポートしてまいります。

【お問い合わせ先】

企業金融第4部 電話番号 03-3244-1640